

人文学部「卒業論文報告会」をオンライン開催しました —4年間の学びの集大成—

武蔵大学（東京都練馬区／学長 山崎哲哉）では、人文学部が「Capstone Project Symposium」と「卒業論文報告会」をオンラインにて開催しました。

本学人文学部は卒業までに卒業論文を書き、口述試験に合格する必要があります。約1年かけて準備、執筆する卒業論文は、4年間の学びの集大成として位置づけられています。

「Capstone Project Symposium」は、人文学部のGSC(グローバル・スタディーズコース)英語プログラムの学生から選出された5名が、「卒業論文報告会」は、各学科から選出された優秀かつユニークな卒業論文の執筆者が、研究発表を行いました。これから執筆にとりかかる3年次はもちろんのこと、1、2年次にとっても先輩方の研究内容は非常に参考になります。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年に引き続き一般公開は行いませんでしたが、発表された論文は後日「卒業論文成果報告書」に掲載され、オープンキャンパス等で希望する高校生・受験生に配付されます。

開催概要（オンライン開催）

「Capstone Project Symposium」 2022年1月28日（金）13:00～16:10

「卒業論文報告会」 2022年1月31日（月）13:00～16:10 ※終了時間は学科ごとに異なります

【卒業論文タイトル例】

■ GSC（グローバルスタディーズコース）英語プログラム（5名発表）

・「Yo-kai as a Coping Mechanism:

The Case of Amabie Adopted as a Symbol for the COVID-19 Pandemic」

・「The Literature of Lee Hoesung: A Korean Settler on Imperial Japan's Sakhalin Frontier, "Back" to Japan, and Beyond the Nation」 他

■ 英語英米文化学科（8名発表）

・「英国女性参政権運動と労働者階級女性-ロンドン東部女性参政権運動連合(ELFS)と女性社会政治連合(WSPU)との比較の観点から-」

・「王座への渴望と残虐性-『リチャード三世』における人間的弱さへの対処-」 他

■ ヨーロッパ文化学科（6名発表）

・「中世ヨーロッパの彩飾写本-受け継がれる伝統-」

・「パリにおけるメトロ開業の歴史-メトロ計画と都市の発展-」 他

■ 日本・東アジア文化学科（8名発表）

・ヒット曲の歌詞に表現される人物像とことばづかいの関係-昭和と平成の歌詞分析を中心に-

・「『ファン・ジニ』ドラマ論 -新たに描き出された黄真伊の姿-」 他

—本件に関するお問い合わせ先—

武蔵大学 広報室

TEL : 03-5984-3813 FAX : 03-5984-3727 E-mail : pubg-r@sec.musashi.ac.jp

2022年4月、武蔵学園は創立100周年を迎えます。



■ **武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ**

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。武蔵大学は、経済、人文、社会の3学部8学科からなる文系総合大学。一年次から4年間のゼミナールが必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2012年には、外国語や異文化を楽しみながら学ぶことのできる国際村 Musashi Communication Village（通称 MCV）を開設、キャンパス内留学の拠点とした。

2020年3月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022年4月、学園創立100周年を迎えるこの年に、新学部となる国際教養学部を開設。

学長 山崎哲哉 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1